



22春闘 要求実現に向けて これが組合員・社員の声だ！

- ・最近よく会社を退職、転職したという人の話を聞くことが多くなった。モチベーションを維持できなくなる今の会社の環境なら今後も増えて離職する人が増えてくると思う
- ・少ない給料でこれまで以上の仕事量を求められているのだから、モチベーションが下がる一方だ。
- ・社員一人ひとりの能力を発揮するためにも、ベア、定昇ともに満額回答し、モチベーションアップにつながるべきだ
- ・今のままの状況が続くと思うと将来がとても不安である。距離が見えないマラソンを走っている状態。そのうち走れない人が出てくると多数リタイヤしそうである
- ・転職サイトに登録している若手も多くいる。今回の春闘、夏のボーナス次第では離職者が続出するかもしれない。自分も真剣に考えてしまうかも
- ・周囲で転職する話をよく耳にする機会が多くなった。それだけ魅力のない企業になってしまっている。自分がモチベーションを保っていても周りの人のモチベーションが低下していくのでは、チームワークでの安全は守られず不安しかない
- ・給料だけが全てではないが、収入の減少・停滞はプラスには働かないと思う
- ・定昇カットやボーナス減少、暗いニュースばかりでモチベーションは下がるばかりだ
- ・私のモチベーションはありません。常にいつ会社を辞めるか考えています
- ・収入減、希望しない異動で働き甲斐を感じない
- ・コロナ禍で感染対策等、仕事が増えているのに賃金が上がらないのはモチベーション低下につながる

モチベーション

- ・様々な一方的な会社施策でモチベーションは上がらない
- ・業務改善といいながら仕事量が増加している。それでいて賃金も上がらず、ボーナスも低下、モチベーションは上がりません
- ・安全、安定輸送に努めて、コロナ禍の中でも現場で努力しているのに報われない
- ・会社は1人何役もの仕事を求めている。施策も具体的な説明もなく、社員におまかせ感しかない。経営陣に怒りを感じる。
- ・最近、40歳手前でJRを辞めたら何ができるかなと考えてしまう。人件費削減、コスト削減しか会社の手段はなく、夢や希望もない。若ければ間違いなく転職している
- ・様々な職場で退職・転職した社員の話聞く。特に支社勤務の社員の退職の話も多く聞いた。多様な働き方の中には企画業務も含まれる。現に企画業務を行っている支社の社員が辞めているという事実が、社員のモチベーションを下げていることに会社は気づくべきである
- ・少ない給料で、これまで以上の仕事量を求められモチベーションが下がる一方で、赤字を理由に定昇2、ボーナス減などおこなったが、これまでの過去最高益時はボーナスに反映していたのか。今後の社会情勢不透明などさまざまな理由をつけ反映されてはいなかったと感じる。会社の利益ばかり追求していて、社員への還元がなされず、その姿勢も感じられない。この会社で働くモチベーションは低い

安心して生活を守るためには
ベースアップ・定期昇給の完全実施が必要だ！